



令和7年度 学校だより

北醍醐9月号

<北醍醐教育アンケート結果特別号>

令和7年9月1日

京都市立北醍醐小学校

校長 山本 太郎

TEL : 075-572-5353



令和7年度第1回「北醍醐教育アンケート」にご協力いただきありがとうございました。結果をご報告いたします。昨年度より、児童・保護者・教職員が自分たちのすべきことに目が向けられるようなアンケートとし、それぞれが当事者意識をもつためのアンケート項目に変更をさせていただきました。保護者はご家庭の教育・子育てを振り返ることにつながるものとし、教職員は自分たちの指導を具体的に振り返ることにつながるものとさせていただいています。

児童、保護者、教職員へのアンケート12項目を集計し、「よくできている」「大体できている」を合わせく実現度>として示させていただきます。

R7 第1回「北醍醐教育アンケート」結果

児童	実現度	保護者	実現度	教職員	実現度
①学校に行くのは楽しい。	93.1%	ご家庭で、楽しく学校に通えるよう働きかけている。	96.8%	「目指す子ども像」を意識して取り組み、児童が安心して活動できるよう教育活動を進めている。	100.0%
②友だちにやさしくし、仲よく学習したり活動したりしている。	91.7%	友だちにやさしくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送れるよう働きかけている。	94.4%	互いを大切にする子どもの育成を目指し、「～さんと呼ぶ」「正しい言葉遣い」等を指導し、児童の身につくよう働きかけている。	87.5%
③自分からあいさつしている。	86.9%	家庭や地域で場面にあったあいさつができるよう働きかけている。	87.9%	進んで挨拶するような指導や褒める評価をし、子どもは意欲的に活動するよう指導している。	93.8%
④困ったときや分からないときなどは、先生に相談している。	82.8%	ご家庭で、お子さんの話を聞いている。	95.2%	子どもや保護者の相談に適切に応じられている。	93.8%
⑤授業では、めあてを意識して学習し、わかったこと、わからなかったことをふりかえっている。	82.8%	お子さんが意欲的に学習に取り組めるよう働きかけている。	74.2%	ねらいを明確にし、教える事と児童が主体的に活動する事を計画し、児童の身につくよう指導している。	88.9%
⑥学校や家で、自分から読書している。	68.3%	ご家庭で、お子さんが読書をするような環境づくりを心掛けている。	38.7%	読書や図書の活用を意図的に指導し、児童自らが進んで読書活動をするよう働きかけている。	80.0%
⑦家で学年に合った家庭学習をしている。(1年生15分、2年生30分、3年生45分、4年生60分、5・6年生60分～90分)	71.7%	ご家庭で、「15分×学年(5・6年生は60分～90分)」の家庭学習(宿題)の習慣が身につくよう働きかけている。	55.6%	授業と家庭学習を連動させた課題や、読書活動を位置づけた家庭学習の充実に取り組んでいる。	66.7%
⑧学校のきまりや交通のルールを守っている。	95.9%	お子さんは、きまりや安全のルールを意識し、守っている。	91.9%	きまりや安全のルールを守ることが行動化され、児童に定着するよう指導している。	88.9%
⑨毎日、決まった時間に早ね早おきをし、顔をあらって歯みがきをし、朝ごはんを食べて登校している。	92.4%	ご家庭で、お子さんが基本的な生活習慣が身につけられるよう働きかけている。	90.3%	基本的習慣や自らの健康・命を守る意識の高揚と行動化に取り組み、児童の身につくよう指導している。	100.0%
⑩学校では、安全に気をつけて安心して活動している。	94.5%	お子さんが自分の安全を守る意識を高められるよう働きかけている。	96.8%	ルール遵守や危険予測の指導を進め、自ら判断し適切に行動できる力や、社会的な規範意識の高揚に取り組み、児童に定着するよう指導している。	100.0%
⑪下級生に優しく接することや、自分が上級生になっていくことを楽しみにしている。	95.2%	お子さんが縦割り活動などの異年齢集団を中心に仲間を大切にしたり、下級生に優しくしたりするよう働きかけている。	90.3%	児童は、縦割り活動を中心に仲間を大切にしたり、下級生に優しくしたりするよう指導している。	81.3%
将来の夢や目標(こんな人になりたいなど)がある。	89.0%	お子さんが夢や希望を持って将来の生き方や生活を考えられるような会話をしている。	78.2%	児童が将来の夢や目標をもてるよう働きかけている。	87.5%

＜アンケート結果から＞

【児童項目より】

児童は、学校生活を楽しみながら、友だちとの関係や安全意識、生活習慣をしっかり身につけています。先生に相談する姿も増え、安心して活動できる環境が整ってきています。異年齢の仲間との関わりも前向きに取り組む姿が見られました。

一方で、読書習慣や学習の振り返り、あいさつの定着には課題が残ります。今後は、読書の楽しさを伝える活動や、学びの目的を意識した授業づくり、あいさつの場面づくりを工夫していきます。

【保護者項目より】

保護者の皆様は、子どもが楽しく学校に通えるよう温かく支えてくださっています。安全や生活習慣の定着にも積極的に関わっていただき、学校との連携が深まっていることを感じます。

一方で、家庭での読書環境づくりや家庭学習の習慣化には課題が見られました。学びの価値づけや声かけの工夫を通して、家庭でも学びを支える環境づくりを一緒に進めていければと思います。

【教職員項目より】

教職員は、児童が安心して過ごせるよう「目指す子ども像」に基づいた教育活動を進めています。生活習慣や安全意識の定着、いじめ防止への対応も継続して、しっかり取り組みを進めてまいります。

一方で、友だちとの関わり方や家庭学習との連動、異年齢交流の指導は改善を行い、取り組んでいきたいと思います。今後は、言葉遣いや関係づくりの指導の継続、授業と家庭学習のつながりを意識した課題設定、縦割り活動の意義づけを見直していきます。



＜自由記述欄より＞（※紙面の都合上、いただいたご意見の一部を抜粋して掲載しています。）

保護者の皆様からいただいたアンケートの自由記述欄には、今回も学校の取組に対する温かい感謝の言葉を多数いただきました。一方で、学習内容や学校生活、施設面、教職員の指導に関するご意見も頂戴し、貴重なご指摘として受け止めております。これらのご意見を真摯に受け止め、必要な見直しを進めながら、すべての子どもたちにとって楽しく、より良い学校となるよう、教職員一同、保護者の皆様と協力して改善に努めてまいります。

昨年度いただいたご意見を参考に、昨今の気象状況を見ながら、今年の夏休み中や夏休み後の取組を大きく変更させていただきました。また、今年度より子ども達には、チャイムの合図で動くのではなく、時計を見て自分で判断する力を育てていきたいと考え、これまでの予鈴のチャイムをなくしました。学習だけでなく、日々の生活の中でもしっかりと自分で考え行動する力をつけてほしいと思います。

PTA に対するご意見についてもいただいております。PTA にお伝えするとともに改善策を図っていききたいと思います。

今後とも学校、保護者、地域が一体となって子ども達の健全育成を目指し、取組を進めていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

